

# リニア駅周辺整備基本計画(案)に対してお寄せ頂いたご意見の概要と市の考え方

- 1 ご意見を募集した期間 平成29年4月10日から5月10日まで  
 2 ご意見をお寄せ頂いた方の人数 22人の個人、1つの団体  
 3 ご意見の数 86項目

資料2

| 章                         | 項目              | 通番 | お寄せ頂いたご意見の概要                                                                                  | 市の考え方           |                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|---------------------------|-----------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| リニア中央新幹線及びリニア駅について<br>第1章 | リニア駅の位置 4       | 1  | ・座光寺PAに出来るスマートICは、バスのほかトラックも通行できるのか。                                                          | 基本計画用語集を修正      | ・基本計画用語集■スマートインターチェンジに「座光寺PA」に設置が予定されている(仮称)座光寺スマートインターチェンジ(SIC)は、観光バスや高速バス等に対応可能であり、設計上車両の長さが12m以内の自動車を対象とする計画である。」と追記します。                                                                                                                                                            |
|                           | 整備検討区域 5        | 2  | ・重点協議区域を南側に設定して1.3ha減らしたのはなぜか。<br>・北側についても、地元への影響を少なくするため面積を減らしたらどうか。                         | 追記せず原案のまま       | ・地元の意向に基づき、出来るだけコンパクトな駅周辺整備とすることを考慮する中で、広域交通拠点として駅の北側及び南側それぞれの機能や施設必要面積を算出しました。その結果、必要最小限の面積として約6.5haが必要と判断しています。                                                                                                                                                                      |
|                           |                 | 3  | ・下記の通り加筆・修正したらどうか。<br>→P4 地域と地権者との協議を十分に重ねるとともに                                               | 基本計画を修正         | ・p4 5.リニア駅周辺整備を検討する区域「・地域(地権者と周辺住民等)の協議を十分に重ねるとともに～」に修正します。                                                                                                                                                                                                                            |
| 関連計画とリニアによるまちづくり戦略<br>第2章 | リニア駅周辺整備の関連計画 1 | 4  | ・下記の通り加筆・修正したらどうか。<br>→P5 持続可能な世界を高水準の「豊かさ」と「安心」で確保する                                         | 基本計画を修正         | ・誤字のため「世界さ高水準」を「世界最高水準」に修正します。                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                           |                 | 5  | ・空洞化している現状から、丘の上の市街地を中心拠点とする基本的な考え方は考え直す必要があるのではないか。                                          | 追記せず原案のまま(別途検討) | ・飯田市土地利用基本方針(飯田市 平成27年10月変更)において、目指す都市の姿を「地域の多様性をいかし、豊かな暮らしを実現する持続可能なまち」とし、その実現に向けて「拠点集約連携型都市構造の推進」を掲げています。都市の中心としての機能を持ち、飯田の「顔」である中心市街地は「中心拠点」、リニア駅及びその周辺区域は「広域交通拠点」として位置づけています。また、中心市街地との連携を重要な要素に掲げ、広域交通拠点から中心拠点を結ぶアクセスと結節の強化を図ると共に、広域交通拠点の周囲に新たな市街地が拡散的に形成されないことを基本的な考え方として掲げています。 |
|                           |                 | 6  | ・リニア駅が新しい飯田の顔となる玄関口であり、その周辺部が新しい商業集積地を作る場所であって、飯田市の顔を旧中心市街地とする計画は違和感があり、おかしいのではないか。           |                 | ・広域交通拠点とその周辺は、既存ストックを最大限に生かしながら、これまでに都市機能が蓄積されてきた中心拠点との連携を強化しつつ、交流・定住・学術研究エリア創出に取り組むこととしています。                                                                                                                                                                                          |
|                           |                 | 7  | ・丘の上は商業の中心地にはなり得ない。せめて行政窓口、金融機関、学校、病院の揃った居住区域として再開発していくべきではないか。                               |                 | ・今後のまちづくりにあたってのご意見として承らせていただきます。                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                           |                 | 8  | ・丘の上周辺部の上郷、鼎の街づくりはどうなるのか。飯田文化会館の建て替えと含めどのように考えているか。市民ホールは建設後の利用頻度を考え(利用料収入)リニア駅近くに設置すべきではないか。 | 追記せず原案のまま(別途検討) | ・各地区のまちづくり及び市民ホールの在り方については、別途検討が進められていますが、今後のまちづくりにあたってのご意見として承らせていただきます。                                                                                                                                                                                                              |

# リニア駅周辺整備基本計画(案)に対してお寄せ頂いたご意見の概要と市の考え方

| 章                         | 項目              | 通番 | お寄せ頂いたご意見の概要                                                                                                                                          | 市の考え方                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|---------------------------|-----------------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 関連計画とリニアによるまちづくり戦略<br>第2章 | リニア駅周辺整備の関連計画   | 9  | ・街中に元気がない、或いはやる気がない施設や設備が散見されるため、東京や地域外の人に自信を持って来て欲しいと言えないので、10年後にそう言えるような街になってほしい。                                                                   | 追記せず<br>原案のまま<br>(別途検討)  | ・いいだ未来デザイン2028(飯田市総合計画)の目指す姿に「地域の誇りと愛着で20地区の個性が輝くまち」を掲げています。またその基本目標2において、「飯田市への人の流れをつくる」の戦略(考え方)に国内外から多くの人を惹きつける魅力づくりに取り組むこと、地域の魅力をさらに磨き上げ地域ブランドを構築するとともに、地域の魅力をプロモーションすることや、リニアを見据えたまちづくりにおける、中心拠点としての中心市街地の魅力づくりを推進することを掲げています。<br>・ご指摘のように、「リニアでぜひ飯田へ」を言えるよう市民の皆様とともに取り組んで参ります。今後のまちづくりにあたってのご意見として承らせていただきます。 |
|                           | リニアによるまちづくり戦略   | 10 | ・追手町周辺は城郭があった場所であることから、後世に伝える意思を示すため、「伊那谷の自然と歴史と文化の玄関口でもある飯田市美術館やその周辺の保全・活用」と加筆したかどうか。                                                                | 追記せず<br>原案のまま<br>(別途検討)  | ・P9、10については、長野県策定の「リニア活用基本構想」や「リニアバレー構想」及び飯田市政経営方針の内容を反映しています。今後のまちづくりにあたってのご意見として承らせていただきます。                                                                                                                                                                                                                      |
|                           |                 | 11 | ・下記の通り加筆・修正したかどうか。<br>P10の＜主な取組＞◎地域の個性を活かした「田舎へ還ろう戦略」の中<br>「この飯田地域には目玉の観光資源が少なく、現在のままの自然を満喫してもらい、四季を通して毎年おとずれてくれるリピーターを確保し、将来居住につなげる魅力の発信・PR」         | 追記せず<br>原案のまま<br>(別途検討)  | ・P9、10については、長野県策定の「リニア活用基本構想」や「リニアバレー構想」及び飯田市政経営方針の内容を反映しています。<br>・今後、交流人口拡大や魅力発信の在り方について別途検討します。                                                                                                                                                                                                                  |
|                           |                 | 12 | ・下記の通り加筆したかどうか。<br>→P10 ＜主な取組＞<br>➤リニア駅を交通拠点とした市道整備においては、従来の「市幹線道路」の定義を見直し、交通の流れに沿った市道改良                                                              | 基本計画を<br>修正<br>(別途検討)    | ・P9、10については、長野県策定の「リニア活用基本構想」や「リニアバレー構想」及び飯田市政経営方針の内容を反映しています。<br>・道路の詳細については、地域の皆様と協議しながら進めていきます。<br>・P33については、1.地域への配慮「・～、地元地域と相談しながら駅周辺整備に併せて道路やコミュニティ活動の場を整備します」に修正します。                                                                                                                                        |
|                           |                 | 13 | ・下記の通り加筆・修正したかどうか。<br>→P33 リニア駅を交通拠点とした市道整備においては、従来の「市幹線道路」の定義を見直し、交通の流れや住民の住み易さに基づいた市道改良を行います。<br>→P33 生活環境が悪化する場合は、地域住民の意見を聞き、一般市道でも幹線道路と同程度の改良を行う。 |                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 整備第3章<br>プロット<br>コンッセ     | アイディア募集         | 14 | ・シニアのまちは、一時的に賑わいを取り戻すが高齢化が進み、医療費の負担増や次世代の若者に負担をかけるため、考え直す必要があるのではないかな。                                                                                | 追記せず<br>原案のまま            | ・シニアのまちについては、駅周辺整備において考えられる多面的な要素を含めた検討の中で、募集した市民アイデアの一つとして記載しています。<br>・今後のまちづくりにあたってのご意見として承らせていただきます。                                                                                                                                                                                                            |
| 整備区域内の施設の整備方針<br>第4章<br>針 | 交通施設の整備方針(交通広場) | 15 | ・「高速バスを北口、路線バスを南口」に分けるのではなく、「公共交通を南口、レンタカー・貸切バスを北口」としたかどうか。<br>・南北連絡道路を設けたらどうか。                                                                       | 基本計画を<br>修正<br>(基本設計で検討) | ・交通広場については、北側を主に(仮称)座光寺SIC～座光寺上郷道路を経由する広域的な交通利用、南側を主に近距離の交通利用として機能分担することにより、効率的な整備を目指しています。<br>・P18(1)ー②各方面からアクセスしやすい交通広場「・上記の考え方を基本として、引き続き利用者の使いやすさ機能分担を検討していきます」を追記します。<br>・南北道路については、設置する方針です。今後の運用については、基本設計において施設配置等を検討する中であわせて検討します。<br>・P17に参照頁(P26 南北道路)を追記します。                                           |

# リニア駅周辺整備基本計画(案)に対してお寄せ頂いたご意見の概要と市の考え方

| 章                    | 項目                         | 通番 | お寄せ頂いたご意見の概要                                                                                                                                                                               | 市の考え方                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|----------------------|----------------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 整備区域内の施設の整備方針<br>第4章 | 交通施設の整備方針（交通広場）<br>1       | 16 | ・北側広場と南側広場に分けて意味付けをしているが、進入路や街区道路での交通障害時や混雑時、間違えて侵入した場合等に不都合が生じるため、高架下に南北連絡道路を設けて一体化すべきではないか。                                                                                              | 基本計画を修正<br>(基本設計で検討)   | ・交通広場については、北側を主に(仮称)座光寺SIC～座光寺上郷道路を経由する広域的な交通利用、南側を主に近距離の交通利用として機能分担することにより、効率的な整備を目指しています。<br>・南北道路については、設置する方針です。今後の運用については、基本設計において施設配置等を検討する中であわせて検討します。<br>・P17に参照頁(P26 南北道路)を追記します。                                                                                             |
|                      |                            | 17 | ・送迎のための車やバス等が直接ホームと接続できるよう、リニア飯田駅の両サイドに、ホームと同じ高さの送迎デッキを設けるべきではないか(全国の国際空港のイメージ)。また屋根付きで立体駐車場へも連絡通路で結んだらどうか。                                                                                | 追記せず原案のまま<br>(基本設計で検討) | ・リニアの構造、改札位置等を考慮した場合、ホームと同じ高さの送迎デッキの設置は難しいと考えています。<br>・駅周辺施設については、基本設計において今後検討します。                                                                                                                                                                                                    |
|                      | 交通施設の整備方針（道路）<br>1         | 18 | ・P20の図では、座光寺上郷道路から②の矢印で示されているが、P30及びP30の図には記載されておらず、計画の有無が不明瞭ではないか。                                                                                                                        | 追記せず原案のまま<br>(基本設計で検討) | ・P30の平面イメージは、基本的な考え方として整理されているもののみ記載しており、座光寺上郷道路からの北側進入路については必要性の意見があるものの検討の余地があるため、P20で記載するのみとしています。北側進入路の有無を含め、具体的な規模や構造等については基本設計において今後検討します。                                                                                                                                      |
|                      |                            | 19 | ・P30平面イメージについて、座光寺上郷道路から北側進入路の記載がないがなぜか。                                                                                                                                                   |                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                      | 交通施設の整備方針（パーク＆ライド駐車場）<br>1 | 20 | ・景観環境の保全を図るため、駐車場を地上2階、地下2～3階とし、地上は送迎用、バス・タクシー等公共の物としたらどうか。また屋上を有効活用したらどうか。                                                                                                                | 基本計画を修正<br>(基本設計で検討)   | ・北側交通広場については、経済性や地形条件等を考慮し、地形改変を最小限に抑える計画としています。現在のところ駐車場等の地下設置は考えていません。駐車場等の具体的な規模や構造等については、基本設計において今後検討します。<br>・P21に参照頁(P29 造成計画)を追記します。                                                                                                                                            |
|                      |                            | 21 | ・コンコース北側へ出ると約4mの壁があるため、立体駐車場との組み合わせにより、北側交通広場を県道から入る2階部分として、1階を地下駐車場(天候バリアフリーになる)としたらどうか。                                                                                                  |                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                      |                            | 22 | ・県道市場桜町線とコンコースの高低差を活かすため、コンコースから地下駐車場とし、2～3階の屋上を交通広場と考えてはどうか。<br>・コンコースは普段人のみ通行で、緊急時車を通すとしているが、前に4mの壁でどのように車を行き来するのか。<br>・P32のパス③には、東を見て立体駐車場が前に無いように見えるのに、P31のパス①には、東に立体駐車場があるがどうなっているのか。 | 基本計画を修正<br>(基本設計で検討)   | ・北側交通広場については、経済性や地形条件等を考慮し、地形改変を最小限に抑える計画としています。現在のところ駐車場等の地下設置は考えていません。駐車場等の具体的な規模や構造等については、基本設計において今後検討します。P21に参照頁(P29 造成計画)を追記します。<br>・改札から出たコンコースは、歩行者専用の連絡通路であり、車両を通す計画はございません。<br>・パスについてはあくまでイメージであり、必ずしもこの通り整備されるものではございませんが、P32パス③の交通広場からは、2階の上部が見える構造となっており、パス③に記載しています。    |
|                      |                            | 23 | ・駅が成功するには地元の人が利用する場所にする必要がある。計画の中で人が一番集まる場所は交流広場であり、ここに多くの人が集めるために駐車場(特に南側)を一時間(できれば二時間)無料化できないか。                                                                                          | 基本計画を修正<br>(基本設計で検討)   | ・駐車場の整備・運営の方法については、基本設計において今後検討します。パーク＆ライド駐車場の在り方についてのご意見として承らせていただきます。<br>・地元のイベントや行事については、基本的にはコミュニティ広場で行っていただく考え方であり、駐車場については当然ながら駐車利用が前提ですが、その他平日等の空いている時間帯が発生する場合はイベント利用にも開放するなど、運用面において柔軟に対応する考え方を示しています。<br>・P21(3)－②駐車場の多面的利用「・駐車場は利用状況に応じてイベントや地域の行事に活用できるなどの運用を図ります」と修正します。 |
|                      |                            | 24 | ・座光寺SICからの車利用や二次交通による市街地への移動を考慮し、北側の一部駐車場を完全に無料駐車場としたらどうか。                                                                                                                                 |                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                      |                            | 25 | ・P21「駐車場はイベントや地域の行事に活用する」とあるが、地域行事はほとんど休日であり、駐車場の利用者の多いと思われる休日に、地元の行事に利用できる駐車場は設置台数に問題があり、コンパクトな駅周辺整備になっていないのではないか。                                                                        |                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

# リニア駅周辺整備基本計画(案)に対してお寄せ頂いたご意見の概要と市の考え方

| 章                    | 項目                             | 通番 | お寄せ頂いたご意見の概要                                                                                                                                                                                 | 市の考え方                    |                                                                                                                                                                                                                                                           |
|----------------------|--------------------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 整備区域内の施設の整備方針<br>第4章 | (パーク＆ライド駐車場)<br>交通施設の整備方針<br>1 | 26 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・パークアンドライド駐車場750台の想定が明確でないが、将来人口減を考慮した想定なのか。</li> <li>・県道市場桜町線の利用者数の想定根拠が不明であり、南北立体駐車場や新設する座光寺上郷道路からの進入路を含めた利用者数の想定をするべきではないか。</li> </ul>             | 基本計画・基本計画資料編を修正(基本設計で検討) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車台数については、基本構想において将来人口を勘案し、既存の推計等を踏まえて750台と設定しています。</li> <li>・県道市場桜町線の交通量については交通推計を行っています。</li> <li>・進入路の詳細は基本設計において今後検討します。</li> <li>・基本計画資料編に、基本構想の「パーク＆ライド駐車場の規模について」を追記し、あわせてP21に参照頁(資料-25)と追記します。</li> </ul> |
|                      |                                | 27 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・リニア長野県駅を日本一便利な機能を持った駅とするため、駐車場の台数が重要であり、利用者がいつでも安心して駐車できるようにするためには、諸条件を考慮すると 約3,000台の駐車場が必要ではないか。</li> </ul>                                         |                          |                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                      |                                | 28 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内駐車場をBOX状でない風景に同化する形態(光のスリットにより小分割)とし、南信州独自の緑化・植栽としたらどうか。</li> <li>・「麻績の館・元善光寺界限」へのアクセスに配慮した計画にしてほしい。また県道市場桜町線へのアクセスについても配慮(全天候型)したらどうか。</li> </ul> |                          |                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                      | (乗換新駅)<br>交通施設の整備方針<br>1       | 29 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗換新駅は利用客数が少なく、元善光寺駅や伊那上郷駅との距離が近すぎるため新設は不要ではないか。伊南バイパスの延伸で対応すれば良いのではないか。</li> </ul>                                                                   | 追記せず原案のまま(別途検討)          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅周辺施設の具体的な規模や構造、緑化やデザイン等については、基本設計において今後検討します。今後の駅周辺施設整備にあたってのご意見として承らせていただきます。</li> <li>・アクセスについては、関係機関及び団体と協議する中で、引き続き検討します。</li> </ul>                                                                         |
|                      |                                | 30 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗換新駅は、メリットが感じられず負担が大きいため、必要ないのではないか。</li> </ul>                                                                                                      |                          |                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                      |                                | 31 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗換新駅は、維持管理を考えた場合無駄が多く、不要ではないか。</li> </ul>                                                                                                            |                          |                                                                                                                                                                                                                                                           |



# リニア駅周辺整備基本計画(案)に対してお寄せ頂いたご意見の概要と市の考え方

| 章                        | 項目                       | 通番 | お寄せ頂いたご意見の概要                                                                                                                                                                                                                                                                 | 市の考え方                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|--------------------------|--------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 整備区域内の施設<br>第4章<br>の整備方針 | 交通施設の整備方針<br>(乗換新駅)<br>1 | 32 | ・乗換新駅は、建設費や維持費負担、利用客の少な<br>さ、リニア駅間との距離、エレベーターや階段の設置<br>負担等、問題があることから、元善光寺駅の駅前広場<br>を改良してシャトルバスを走らせる案も考えるべきで<br>はないか。                                                                                                                                                         | 追記せず原<br>案のまま<br>(別途検討) | ・県内においては上伊那・下伊那地域、県外においては三<br>河・遠州地域に跨るJR飯田線の利用者が、JR飯田線を介して<br>リニア駅にアクセスし、円滑に乗換え出来るようにするため、J<br>R飯田線元善光寺駅と伊那上郷駅の間に乗換新駅の設置を<br>検討しています。<br>・乗換新駅の設置にあたり、長野県や上伊那・下伊那地域の<br>地方自治体で構成する伊那谷自治体会議において協議して<br>おり、費用負担等を含めて別途検討を進めます。<br>・シャトルバスによる代替、環状線の新設、元善光寺への街道<br>整備については、今後のまちづくりにあたってのご意見として<br>承らせていただきます。<br>・また乗換新駅の設置位置については、地形の高低差やリニ<br>ア駅との移動距離、リニアの構造等を考慮し、基本計画記載<br>の箇所として検討を進めています。 |
|                          |                          | 33 | ・JR乗換新駅では未来に展望がなく意味がないため、<br>JR桜町駅の駅前から上郷に向かって野底川に橋を架<br>け、JR飯田駅前とリニア新駅を結ぶ最短ルートを作り、<br>その上に新たな交通機関を設けて、中間駅に伊那上<br>郷乗換駅を設置したらどうか。<br>・また更に延長して環状線を作れば、「リニアを含めた<br>まちづくりのためのインフラの核」になるのではない<br>か。新たな交通機関は、路面電車、ロープウェイ、モノ<br>レール、ケーブルカー等とし、環状線を飯田市の”戦<br>略的まちづくり”の中心にするべきではないか。 |                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                          |                          | 34 | ・乗換新駅について多く取り上げているため、県道西<br>側地域についても整備範囲として合わせるべきではな<br>いか。<br>・市(伊那谷自治体会議)は早急にJRと話し合いし、<br>地元や関係機関とも協議して、明確な計画を提示す<br>べきではないか。                                                                                                                                              |                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                          |                          | 35 | ・JR飯田線を高速化したり利便性を向上させても、JR<br>飯田線の本来の魅力であるローカルなんびりした良<br>い所が失われてしまうため、乗換新駅は不要ではない<br>か。元善光寺への街道(歩道)を整備する方が良いの<br>ではないか。                                                                                                                                                      |                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                          |                          | 36 | ・乗換新駅の設置を前提とした場合、リニア駅と新駅を<br>駅構内通路で連絡してほしい。通路の演出や眺望が<br>可能なスペースであり、有効活用してほしい。ただし、<br>シャトルバスや外歩道による連絡はやめてほしい。<br>・なぜリニア本線とJR飯田線の交差点に乗換新駅を設<br>置できないのか、理由を明確にしてほしい。                                                                                                            |                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                          |                          | 37 | ・乗換新駅とリニア駅間の移動は最優先課題であり、<br>どんな工夫をして連結するか。またリニア本線とJR飯<br>田線が交差する所に駅舎はなぜ無理なのか？                                                                                                                                                                                                |                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |

# リニア駅周辺整備基本計画(案)に対してお寄せ頂いたご意見の概要と市の考え方

| 章                | 項目                    | 通番 | お寄せ頂いたご意見の概要                                                                                                                                                                                                                                                       | 市の考え方                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|------------------|-----------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 整備区域内の第4章の施設整備方針 | 交通施設の整備方針<br>(乗換新駅)   | 38 | <ul style="list-style-type: none"> <li>乗換新駅とリニア長野県駅の両線の交差する地点でリニア駅の真上に、直角に乗換新駅を作るべきではないか。</li> <li>乗換新駅の形は、木造三階建て(一階部分は飯田市の赤門風、二、三階は松本城風)にし、山々を眺望できる場所として展望室を設けたらどうか。またリニア駅と乗換新駅の接続は、エレベーター、エスカレーター、スロープ等で、リニア駅の両サイドと直結させたらどうか。</li> </ul>                         | 追記せず原案のまま<br>(別途検討)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>県内においては上伊那・下伊那地域、県外においては三河・遠州地域に跨るJR飯田線の利用者が、JR飯田線を介してリニア駅にアクセスし、円滑に乗換え出来るようにするため、JR飯田線元善光寺駅と伊那上郷駅の間に乗換新駅の設置を検討しています。</li> <li>乗換新駅の設置にあたり、長野県や上伊那・下伊那地域の地方自治体で構成する伊那谷自治体会議において協議しており、費用負担等を含めて別途検討を進めます。</li> <li>また乗換新駅の設置位置については、地形の高低差やリニア駅との移動距離、リニアの構造等を考慮し、基本計画記載の箇所として検討を進めています。</li> <li>デザインやアクセス方法等の詳細については、今後の乗換新駅整備にあたってのご意見として承らせていただきます。</li> </ul> |
|                  |                       | 39 | <ul style="list-style-type: none"> <li>在来線との乗換利便性を最大限に高めるため、リニア駅西端にJR飯田線との乗換専用の改札設置や、乗換経路の最短化を図り、バリアフリー(天候含む)機能を整備したらどうか。</li> <li>地形的高低差や距離を埋めるべく、エスカレーターや斜行エレベータを整備したらどうか。</li> <li>新駅西端への乗換専用改札設置が不可能な場合も、中央コンコースよりJR飯田線乗換新駅までのペDESTリアンデッキを整備したらどうか。</li> </ul> |                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                  | 交流施設の整備方針<br>(魅力発信施設) | 40 | <ul style="list-style-type: none"> <li>広場を、有効利用されるような面白い工夫のある施設に整備してほしい。</li> <li>地域交流施設を、有機的に連携した大小5棟位の施設として整備し、上手に配置することで一つの集落・交流・商業空間を創造できないか。</li> <li>コミュニティ広場を駅前広場と一体化したらどうか。</li> <li>南信州らしさを「水のデザイン・活用」も加えて表現したらどうか。</li> </ul>                            | 追記せず原案のまま<br>(基本設計で検討) | <ul style="list-style-type: none"> <li>広場等の整備・運営の方法、具体的な規模や構造等については、基本設計等において今後検討します。駅周辺施設の配置やデザインにあたってのご意見として承らせていただきます。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|                  |                       | 41 | <ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画(案)には公園と駐車場しか描かれておらず、単なる乗り換え地域となるのはもったいない。飯田らしさの玄関口にするのであれば公園は不要であり、リニア駅周辺に大型商業施設を配置し、文化会館移設の市民ホールを作り、地域の人々とリニア利用者の集まる街区にする開発を目指すべきではないか。</li> </ul>                                                                    | 追記せず原案のまま<br>(別途検討)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>リニア駅周辺整備においては、来訪者を信州・伊那谷各地へ誘い、波及効果を高めるような地域の魅力や情報を発信する駅空間を目指し、各種イベントや来訪者と交流ができるスペースや広場を計画する等、多様な交流の拠点として整備する方針です。駅周辺については、市民や多くの人が集まる場所であるため、災害時に避難できる機能としても広場が求められています。</li> <li>大型商業施設については、整備区域内には配置しない計画ですが、魅力発信施設において今後運営や手法等を検討します。</li> <li>市民ホールの在り方については、別途検討が進められていますが、今後のまちづくりにあたってのご意見として承らせていただきます。</li> </ul>                                        |

# リニア駅周辺整備基本計画(案)に対してお寄せ頂いたご意見の概要と市の考え方

| 章                    | 項目                      | 通番 | お寄せ頂いたご意見の概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 市の考え方                  |                                                                                                                                               |
|----------------------|-------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 整備区域内の施設の整備方針<br>第4章 | 交流施設の整備方針<br>(魅力発信施設)   | 42 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元住民は交通の便よりも商業施設機能の充実を期待しており、自然の光を感じるテラス風の商業施設(例、「ログロード代官山」「モリパーク」「トナリノ(名城公園)」)やちょっとした休日に非日常を味わえるような空間が必要ではないか。</li> <li>・商業施設のテナントは、テラス席のあるカフェ、オーガニック食品、特産品を使った付加価値の高い雑貨や衣類の小売店、アウトドア用品店など信州の豊かな自然を生かしたものが良く、ゆっくりと優雅な施設で時間を過ごせ、若者がこの地域で暮らしたいと思える魅力づくりをしてほしい。</li> </ul> | 追記せず原案のまま<br>(基本設計で検討) | ・駅周辺整備に伴う魅力発信施設の計画等については、基本設計において今後検討します。商業施設や空間デザイン、情報発信に関するご意見として承らせていただきます。                                                                |
|                      |                         | 43 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力発信施設について、県外の利用者が駅で情報を得て訪問先を決めることは殆どなく、旅行者への情報発信は東京・名古屋等の都市部で行うべきではないか。</li> <li>・リニア利用者の行動パターンを考えると、来訪者がイベント見学・体験学習を行う機会はいらないのではないか。</li> </ul>                                                                                                                        |                        |                                                                                                                                               |
|                      | 交流施設の整備方針<br>(交流広場)     | 44 | ・P25に、日常生活への安全安心確保、災害時のバックアップ機能としての警察(交番)や消防施設設置の必要性を記載すべきではないか。                                                                                                                                                                                                                                                 | 追記せず原案のまま<br>(基本設計で検討) | ・災害時のバックアップ機能については、基本設計において今後検討します。                                                                                                           |
|                      |                         | 45 | ・地元の方も足を運び、地場産商品を売る場所として賑わいを出すため、交流広場の経営を農協と商工会に委託したらどうか。                                                                                                                                                                                                                                                        | 追記せず原案のまま<br>(基本設計で検討) | ・交流広場等の施設の整備・運営の方法は、基本設計において今後検討します。                                                                                                          |
|                      | 交流施設の整備方針<br>(コミュニティ広場) | 46 | ・飯田市内外の交流人口を増加させるため、コミュニティ広場に照明施設のある人工芝のサッカー場を設置したらどうか。                                                                                                                                                                                                                                                          | 追記せず原案のまま<br>(基本設計で検討) | ・コミュニティ広場は、リニア駅が地域を横断する形で駅が設置されるため、地域コミュニティの維持に最大限配慮し、イベントや祭り等の地域住民が集うコミュニティ活動の場として活用できる場所として整備するものです。コミュニティ広場の整備・運営の方法は、地域の意向を踏まえながら今後検討します。 |
|                      |                         | 47 | ・土地提供者で移転する現居住者のコミュニティは失われるため、コミュニティ広場を使う機会はほとんどなく、移転者への配慮になっていないのではないか。                                                                                                                                                                                                                                         |                        |                                                                                                                                               |
|                      |                         | 48 | ・コミュニティ広場の維持管理は、飯田市とすべきではないか。                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                        |                                                                                                                                               |
|                      |                         |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                        |                                                                                                                                               |
|                      |                         |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                        |                                                                                                                                               |
|                      |                         |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                        |                                                                                                                                               |

# リニア駅周辺整備基本計画(案)に対してお寄せ頂いたご意見の概要と市の考え方

| 章                | 項目                       | 通番 | お寄せ頂いたご意見の概要                                                                                                                                                  | 市の考え方                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|------------------|--------------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 整備区域内の施設第4章の整備方針 | 高架下空間の整備方針 <sup>3</sup>  | 49 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・南北道路の利用者の安全を確保してほしい。</li> <li>・北側交通広場の地下を駐車場にしたかどうか。</li> </ul>                                                       | 基本計画を修正<br>(基本設計で検討)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・南北道路については、基本設計において施設配置等を検討する中であわせて検討します。</li> <li>・北側交通広場については、経済性や地形条件等を考慮し、地形改変を最小限に抑える計画としています。現在のところ駐車場等の地下設置は考えていません。駐車場等の具体的な規模や構造等については、基本設計において今後検討します。</li> <li>・P21に参照頁(P29 造成計画)を追記します。</li> </ul>                                                                                                                           |
|                  | 環境・方景観の整備方針 <sup>4</sup> | 50 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「グリーンインフラ」は、冬の寒さや夏の維持管理等を考慮し、慎重に判断すべきではないか。</li> </ul>                                                                | 基本計画を修正<br>(実施設計で検討)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「グリーンインフラ」の導入や維持管理の詳細については、実施設計等において今後検討します。</li> <li>・P28 4. 環境・景観の整備方針 ①グリーンインフラを活用した取り組み「導入にあたっては効率的な導入箇所や維持管理手法を考慮し、計画します」と追記します。</li> <li>・p21に参照頁(P28 グリーンインフラ)を追記します。</li> </ul>                                                                                                                                                 |
| 駅周辺整備第5章計画       | 造成計画 <sup>1</sup>        | 51 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・飯田市が把握している地形や地質等の課題について、問題点を早急に提示してほしい。</li> <li>・1月の市民説明会で配布したような資料等を市民に配布できないか。</li> </ul>                          | 追記せず原案のまま               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地形や地質等の問題については、概ねP29「1. 造成計画」及び資料編P38、39の「北側交通広場・P&amp;R駐車場レイアウト比較検討」に記載のとおりです。</li> <li>・市民説明会等の配布資料については、飯田市ホームページ等で随時公表していきます。</li> </ul>                                                                                                                                                                                            |
|                  |                          | 52 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・P29について、近隣河川へ排水とあるが、下流域への安全対策を明記すべきではないか。</li> <li>・雨水だけの調整池は、夏の渇水期に汚れが酷くなるため、水辺空間の活用とも関連させて対策を記載すべきではないか。</li> </ul> | 基本計画用語集を修正<br>(基本設計で検討) | <ul style="list-style-type: none"> <li>調整池は、排水基準を満たすとともに、流量調整を行い下流域への安全対策を行う施設として計画しています。施設の管理については基本設計において今後検討します。</li> <li>・基本計画用語集に、調整池の目的及び機能を追記します。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                             |
|                  |                          | 53 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調整池の排水先は近隣河川とし、明確な河川名が入っていないが、明記し下流住民に説明すべきではないか。</li> <li>・雨水だけの池では、夏場の渇水期は池の汚れ、蚊の発生等問題が出るため、検討が必要ではないか。</li> </ul>  |                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|                  |                          | 54 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・造成計画は、コンコース北口に4～5mの壁ができること、昇降設備が必要であり維持費が高くなること等の課題があることから、北側交通広場とコンコースの高低差を無くす案を採用すべきではないか。</li> </ul>               | 基本計画用語集を修正<br>(基本設計で検討) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・北側交通広場とコンコースの高低差については、地形条件等を考慮し、地形改変を最小限に抑えるため現在の計画としています。交通広場の具体的な規模や構造等については、基本設計において今後検討します。</li> <li>・なお資料41・42の「北側交通広場・P&amp;R駐車場レイアウト比較検討」に記載のとおり、三つの整備案をリニア駅周辺整備検討会議及び部会で検討した結果、C案(現行案)になった経過があります。</li> <li>・P29 1. 造成計画 ①地形の改変を少なくした造成計画「北側交通広場とコンコースの高低差を有効に活用する空間づくりを検討します。また、自動車による改札口付近への速やかなアクセスを検討します」に修正します。</li> </ul> |
|                  | イメージ <sup>2</sup>        | 55 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な新しいイメージ図を早めに提示してほしい。</li> <li>・中心となる設計・建築家、大手ゼネコンの参画を早めに行ってほしい。</li> </ul>                                        | 追記せず原案のまま<br>(別途検討)     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージ図等の情報発信については、随時公表していきます。</li> <li>・今後検討を進める各段階において、多方面の有識者を含めた人選を行います。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                   |



# リニア駅周辺整備基本計画(案)に対してお寄せ頂いたご意見の概要と市の考え方

| 章                        | 項目                    | 通番 | お寄せ頂いたご意見の概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 市の考え方                  |                                                                                                                                                                                                                                                       |
|--------------------------|-----------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地元地域の生活環境・暮らしへの配慮<br>第6章 | 地域への配慮<br>1           | 56 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・P33 地元コミュニティの分断対策について、地元地区と協議しつつ市としての具体的な考え方を提示すべきではないか。</li> <li>・住民の安全・安心の確保を明記すべきではないか。</li> <li>・生活環境への影響を極力回避・低減できるよう、工事着手前に市は事業者と地元による覚書を交わし、執行管理、調整及び住民周知により環境保全・生活安全の維持に努めるべきではないか。</li> </ul>                                                                      | 基本計画を修正<br>(別途協議)      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティの分断に関する対策として、コミュニティ広場の設置、市道五郎田線と国道との立体交差、東西道路の設置等の計画を進めております。地域の状況を十分に把握する中で、今後も地元と協議していきます。</li> <li>・P33 1. 地域への配慮「・関係者の生活環境への影響を極力回避・低減できるよう、事業者はもとより工事関係者とも随時調整を図り、安心・安全の確保に努めます」に修正します。</li> </ul> |
|                          | 事業に伴う代替地確保・整備<br>2    | 57 | ・事業主体によって代替地への移転時期が違うはずだが、具体的にどのような方法で進めて不公平が無いようにするのか。                                                                                                                                                                                                                                                             | 追記せず原案のまま<br>(別途検討)    | ・代替地については、事業主体間で補償基準や情報開示時期の統一を図り、抽選等で同時に対象者を選定する等、移転時期の違いにより不公平が生じないように進めます。                                                                                                                                                                         |
|                          |                       | 58 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・賃貸借地についての補償等何も出ていないので、方針を示してほしい。</li> <li>・マンション等の住民との交渉等も市で行ってほしい。</li> </ul>                                                                                                                                                                                              | 追記せず原案のまま<br>(別途協議)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・賃貸借地の補償等については、個別協議により方針を示させていただきます。</li> <li>・賃貸借人との個別協議については、飯田市で対応します。</li> </ul>                                                                                                                           |
|                          |                       | 59 | ・移転者に対する配慮に関する文の内容が、通常の土地収用に対する対応であり、基本計画として特段の配慮はしないのか。また斡旋方法の具体的なイメージが湧かない。                                                                                                                                                                                                                                       | 追記せず原案のまま<br>(別途協議)    | ・基本計画においてはあくまで基本的な方針を示しており、一人一人の意向確認が必要な内容につきましては、個別相談会等の機会を設けて個別具体的に説明・対応させていただきます。                                                                                                                                                                  |
|                          |                       | 60 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・下記の通り項目を追加したかどうか。</li> <li>→P33 移転される方々には、移転先が現在の生活水準より低下することの無いよう代替地等の確保をします。</li> </ul>                                                                                                                                                                                   |                        |                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 今後の進め方<br>第7章            | 今後の進め方<br>(デザイン)<br>1 | 61 | ・地元作家を生かした具体的なプランが必要ではないか。コンコースイメージとして、菱田春草や原田泰治、椋鳩十などの作品を生かしたデザインが必要ではないか。                                                                                                                                                                                                                                         | 追記せず原案のまま<br>(基本設計で検討) | ・駅周辺整備のデザイン等については、基本設計等において今後検討しますが、ご意見として承らせていただきます。                                                                                                                                                                                                 |
|                          |                       | 62 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅南側の建物は、小さな建物を複数造る案ではコストや景観、使い勝手から見て厳しく、物産販売・観光案内所など「道の駅」の様で陳腐であるため、望ましくないのではないか。</li> <li>・駅北側は中央・南アルプス、谷・段丘が見え、当駅の大きな特長を出す場所であるため、「自然を生かす」「豊かな自然の中にある駅舎」「伊那谷らしさ」を感じられる景観にしていきたい。</li> <li>・今後は一般市民や専門のデザイナー、著名な設計家の参加が必至であり、伊那谷の特長を生かした自由な発想のプランの提案が複数必要ではないか。</li> </ul> |                        |                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                          |                       | 63 | 駅構内通路、コンコースには郷土著名作家の作品でおもてなしすべきではないか。                                                                                                                                                                                                                                                                               |                        |                                                                                                                                                                                                                                                       |

# リニア駅周辺整備基本計画(案)に対してお寄せ頂いたご意見の概要と市の考え方

| 章                              | 項目 | 通番 | お寄せ頂いたご意見の概要                                                                                                                                                                                            | 市の考え方                  |                                                                                                                                                        |
|--------------------------------|----|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 今後の計画検討に係る進め方<br>(デザイン)<br>第7章 | 1  | 64 | ・「リニア(走る・止まる)が見える駅」に出来ないか。                                                                                                                                                                              | 追記せず原案のまま<br>(基本設計で検討) | ・駅周辺整備のデザイン等については、基本設計等において今後検討しますが、ご意見として承らせていただきます。                                                                                                  |
|                                |    | 65 | ・飯田市が力を入れている「宇宙産業」に絡めて、リニアの後は宇宙船に乗って「宇宙へ出よう」の疑似体験施設を設置したらどうか。                                                                                                                                           |                        |                                                                                                                                                        |
|                                |    | 66 | ・環境と自然を生かしたスポーツ、身体つくりと健康、家族でゆったり過ごす場所、文化芸能等を生かした駅にしてほしい。                                                                                                                                                |                        |                                                                                                                                                        |
|                                |    | 67 | ・都会人からダサイ・センス悪い・田舎くさいというような評価をされるような物、我々自身も誇りをもてないような駅ではなく、「伊那谷らしさを感じられる駅」というコンセプトの中で、誰もが心地よく感じられ、その洗練された感性に感動し、何度も訪れたいような心配りのある駅整備を目指してほしい。<br>・駅周辺の外灯は、東栄町の消防署(消防団?)前の道路にある外灯のような、センスの良いものを参考にしたらどうか。 |                        |                                                                                                                                                        |
|                                |    | 68 | ・日向駅のような、列柱・ピロティによる「付加的なコンコース」にしたらどうか。<br>・屋外駐車場内に自然体の樹林を整備したらどうか。                                                                                                                                      |                        |                                                                                                                                                        |
|                                | 3  | 69 | ・「(仮称)リニア駅周辺整備デザイン検討会議」の構成メンバーは、市民・専門デザイナー・建築家(中央)等、多方面から人選してほしい。                                                                                                                                       | 追記せず原案のまま<br>(別途検討)    | ・今後検討を進める各段階において、多方面の有識者を含めた参画を検討していきます。                                                                                                               |
|                                |    | 70 | ・事業スケジュールがどういう順番に進むのか、同時に進行するのか、分かりにくいので分かるようにしてほしい。<br>・移転する人の交渉の順番や移転時期の希望も聞いてくれるのか知りたい。                                                                                                              | 基本計画を修正<br>(別途検討)      | ・移転協議の順番や移転時期の希望等、一人一人の意向確認が必要な内容につきましては、個別相談会等の機会を設けて個別具体的に説明・対応させていただきます。<br>・P35 3. 事業スケジュール「より具体的な事業スケジュールについては、進捗の状況に合わせて随時説明会等で説明していきます。」と追記します。 |
|                                |    | 71 | ・全事業が一括で分かるようなスケジュール表を作成し、提示すべきではないか。                                                                                                                                                                   |                        |                                                                                                                                                        |

# リニア駅周辺整備基本計画(案)に対してお寄せ頂いたご意見の概要と市の考え方

| 章   | 項目         | 通番 | お寄せ頂いたご意見の概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 市の考え方                       |                                                                                                                                                                                                                          |
|-----|------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| その他 | 基本計画全般     | 72 | ・「検討します」の記述が多いが、基本計画(案)が正式に承認された際に、決定した内容となるのか。                                                                                                                                                                                                                                                                       | 追記せず原案のまま<br>(基本設計以降で検討)    | ・基本計画において「検討します」と記述する項目については、基本計画策定後の基本設計以降の段階において、関係機関との協議を踏まえながら決定します。また決定にあたり、多方面から人選した組織において協議します。<br>・リニア駅周辺整備事業に関する計画の最終決定は、飯田市が行います。                                                                              |
|     |            | 73 | ・「検討します」の記述が大変多いが、「する」のか「しない」のか不明瞭なため、表現を再検討すべきではないか。                                                                                                                                                                                                                                                                 |                             |                                                                                                                                                                                                                          |
|     |            | 74 | ・「検討」の記述があるが、どこで行うのか明確化し、最終決定はどこで行うのか示すべきではないか。                                                                                                                                                                                                                                                                       |                             |                                                                                                                                                                                                                          |
|     | 周辺アクセス道路整備 | 75 | ・市道五郎田線の国道アンダーパスの勾配12%は急であるため、緩やかにしてほしい。車専用道と地上部に歩道橋設置で良い。また地下道の保安や安全装置等を設置してほしい。<br>・現北条交差点付近に国道横断道路は何本も必要なのではないか。<br>・生活道路でなくリニア駅の顔となる東西循環道路を新設したらどうか。<br>・事業所の移転先用地の説明がないため不満である。道路沿いの商業候補地を速やかに設定してほしい。<br>・駐車場整備は除草対策に配慮した計画をしてほしい。<br>・凶悪犯罪が心配なため、コミュニティ広場などへ防犯カメラ設置を重視し監視を強化してほしい。<br>・重点協議区域の市としての方向性を示してほしい。 | 追記せず原案のまま<br>(基本設計・実施設計で検討) | ・駅周辺整備区域外の道路整備については、地域の状況を十分に把握する中で地元と協議しますが、具体的な計画については、実施設計等において今後検討します。<br>・代替地については、個別相談会等の機会を設けて個別具体的に説明・対応させていただきます。<br>・施設の整備・運営の方法等については、基本設計において今後検討します。<br>・重点協議区域等については、P4に記載のとおりですが、民間事業者の意向を勘案しながら、別途検討します。 |
|     |            | 76 | ・駅北側の県道市場桜町線の整備は、新設道路であり旧道が残されるため、現住民には不便である。工事費増大、土地収用面積の増大等が考えられるため、現道拡幅で土地収用面積を減少させた方がコンパクトで経済効率の高い整備計画となるのではないか。                                                                                                                                                                                                  | 追記せず原案のまま<br>(別途検討)         | ・県道市場桜町線については、リニア駅へのアクセス、渋滞緩和、安全性の向上を目的に、計画等が進められています。<br>・旧道については、新設する市道とあわせて有効利用を検討します。                                                                                                                                |
|     |            | 77 | ・座光寺共和と北条交差点は飯田下伊那で最も混雑する場所の一つであり、大渋滞が予想されることから、国道153号線とスマートインターからの座光寺上郷道路は立体交差にするべきではないか。                                                                                                                                                                                                                            | 追記せず原案のまま                   | ・国道153号及び座光寺上郷道路については、リニア駅へのアクセス、渋滞緩和、安全性の向上を目的に計画が進められており、平面交差による交通処理が可能と判断しています。                                                                                                                                       |
|     |            | 78 | ・旧中心市街地とリニア駅を結ぶ道路が脆弱であり、片側2車線道路でJR飯田駅とリニア駅を結ぶ道路を、生活道路とは別に作るべきではないか。                                                                                                                                                                                                                                                   | 基本計画を修正<br>(別途検討)           | ・中心市街地とリニア駅周辺を結ぶ主要な道路としては、P3にも記載がございますが、①県道市場桜町線だけでなく、②国道153号及び市道江戸町城東線・天王一号線(通称・柳通り)、③座光寺上郷道路及び県道飯島飯田線のルートを基軸として考えています。<br>・P3に参照頁(資料-27 リニア駅及び周辺の概況)を追記します。                                                            |
|     |            | 79 | ・北条交差点を挟んで東西の市道五郎田線の幅員を同じにしてほしい。                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 追記せず原案のまま<br>(実施設計で検討)      | ・駅周辺整備区域外の道路整備については、地域の状況を十分に把握する中で地元の皆様と協議しますが、具体的な計画については、実施設計において今後検討します。                                                                                                                                             |
|     | リニア事業全般    | 80 | ・二地域居住を望む都会の人々に対し、どこへ住んでもらうか等、目途をつけて考えているか。                                                                                                                                                                                                                                                                           | 追記せず原案のまま<br>(別途検討)         | ・地域の状況を十分に把握する中で、地元や関係機関と協議して参ります。<br>・交流人口拡大を検討する中で、地域と一体となって移住希望者への積極的な情報発信を行っていきます。                                                                                                                                   |
|     |            | 81 | ・駅舎と周辺の開発や建築物、駅の構築の制限は何かあるのか知りたい。<br>・駅舎や高架橋下の活用はどこまで可能か知りたい。<br>・リニアの姿(止まる・走る)を外から見ることは可能か知りたい。                                                                                                                                                                                                                      | 追記せず原案のまま<br>(基本設計で検討)      | ・P34記載のとおり、基本設計の検討を進める中で、ワークショップ等の機会を通して情報発信に努めます。                                                                                                                                                                       |

# リニア駅周辺整備基本計画(案)に対してお寄せ頂いたご意見の概要と市の考え方

| 章   | 項目      | 通番 | お寄せ頂いたご意見の概要                                                                                                                                                                      | 市の考え方                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----|---------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| その他 | リニア事業全般 | 82 | <p>・リニア計画が確実に実現するという前提は無謀であり、超電導磁石は高度な機械であり列車の重量を支えるという過酷な用途に向かないこと、諸外国はすでに断念していること、希少資源であるヘリウムが無ければ走れないため信頼性が低いこと、残土処理が未解決であること、大量の電力や土地が必要であり不合理であること等から、リニアに未来はなく計画をやめるべき。</p> | <p>追記せず原案のまま</p> <p>・リニア中央新幹線については、全国新幹線鉄道整備法に基づき、昭和48年に基本計画が決定されて以来、飯田下伊那地域では、他に先駆けて期成同盟会を組織し、早期実現と飯田駅設置に向けて取り組んできた経過があります。</p> <p>・リニア中央新幹線の実用化に向けた実験やルート選定のための地形・地質等の調査が長く続けられる中、平成19年12月、東海旅客鉄道株式会社(JR東海)が「全額自己負担を前提に中央新幹線を促進する」と発表したことから、リニア中央新幹線の実現に向け大きく前進しました。平成22年2月には、国土交通大臣が交通政策審議会に対して諮問し、同審議会陸上交通分科会鉄道部会中央新幹線小委員会による検討を経て、平成23年5月にJR東海が営業主体及び建設主体に指名され、JR東海に対して建設の指示がなされました。このことから、当地をリニア中央新幹線が通過することが確実となっています。</p> <p>・超電導リニアの技術開発については、平成2年の運輸大臣通達(当時)に基づき、JR東海と鉄道総研が共同で作成した「超電導磁気浮上方式鉄道技術開発基本計画(H2～H28)」により推進されてきました。平成28年度までに他の交通機関に対して一定の競争力を有する超高速大量輸送システムとして実用化の技術を確立することを目指した同基本計画は、平成21年7月の超電導磁気浮上式鉄道実用技術評価委員会において「超高速大量輸送システムとして運用面も含めた実用化の技術の確立の見通しが得られており、営業線に必要となる技術が網羅的、体系的に整備され、今後詳細な営業線仕様及び技術基準等の策定を具体的に進めることが可能となった」と評価され、平成23年5月に、全幹法に基づく整備計画における中央新幹線の走行方式として超電導リニア方式が採用された経過があります。</p> <p>・国土交通省の第20回超電導磁気浮上式鉄道実用技術評価委員会(H29年2月)の中で、今後は既に確立している実用技術について、更なる快適性の向上や保守の効率化等を目指し、重点開発課題として、①更なる保守のコスト低減や効率化に向け、不具合の予兆検知や検査の効率化・代替など、営業車両等を活用した保守体系の確立及び検証、②液体ヘリウム・液体窒素を用いない高温超電導磁石について、長期耐久性を検証したうえで営業車両への導入の可否を判断、③輸送システムとしての快適性の更なる向上に向けて、車内振動や車内騒音などをより低減させるほか、車内環境圧力変化の改善(耳ツン対策)が挙げられており、重点開発課題の開発工程や以下の事項を踏まえて平成34年度まで技術開発期間の延長が審議・了承され、現在も技術開発は進められている状況です。</p> <p>・長野県においては、平成39年(2027年)に東京都・名古屋市中間で開業が予定されているリニア中央新幹線による時間短縮効果は、長野県に大きなメリットをもたらすと見込んでおり、その整備効果を広く県内に波及させることが、長野県の発展につながることから、「リニアを見据えた地域づくりの指針」として、「長野県リニア活用基本構想」を策定しています。また、リニア中央新幹線の駅勢力圏(鉄道駅を中心としてその駅を利用する人が存在する範囲)や交通網、更には地域によって異なる自然、文化、産業などを背景に、地域の特性に応じたリニア整備効果が期待できるとしており、長野県駅の駅勢力圏である「伊那谷交流圏」、長野県駅・山梨県駅・岐阜県駅の駅勢力圏である「リニア3駅活用交流圏」、そして長野県全域を対象とする「本州中央部広域交流圏」という3つの重層的な交流圏を設定し、これらの交流圏の実現に向けた取り組みを進めています。</p> <p>・また南信州広域連合においては、平成22年11月に地域住民や有識者による検討会議を経て、飯田下伊那地域の将来に向けた地域づくりの指針であり、リニア中央新幹線を見据えた将来像を描く「リニア将来ビジョン」を策定しています。移動時間の大幅な短縮による産業立地の可能性向上や交流人口の拡大などのプラス効果が期待される一方で、いわゆるスロー現象などのマイナスの影響も心配されるため、こうした二面性のあるリニア効果に対しては、プラス面を最大限に活かし、マイナス面を最小限に抑えるための地域づくりの取組が重要である、としています。</p> |



# リニア駅周辺整備基本計画(案)に対してお寄せ頂いたご意見の概要と市の考え方

| 章   | 項目      | 通番 | お寄せ頂いたご意見の概要                                                                                                                                                                                                                                       | 市の考え方                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----|---------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| その他 | リニア事業全般 | 82 |                                                                                                                                                                                                                                                    | <p>追記せず原案のまま</p> <p>こうした各計画や検討経過を踏まえて、飯田市においてもリニアの整備効果を最大限地域振興につなげていく取組の一環として、平成27年6月8日、リニア駅周辺整備基本構想を策定しました。本構想で掲げる目指す姿「信州・伊那谷の個性で世界を惹きつけ、世界へ発信する玄関口」の実現に向けて取り組んでおり、今回のリニア駅周辺整備基本計画においても目指す姿を継承し、リニアを推進する立場から計画を進めています。</p> <p>・JR東海が進めるリニア中央新幹線事業については、飯田市としても現在の状況を踏まえつつ対応していますが、駅位置やルート等、技術的、自然条件的、環境的な観点から、パブリックコメント、県知事や国の意見も踏まえる中で、最終的には工事実施計画の国による認可という形の中で決定されており、その可否については基本計画の検討範囲外であることから、原案のままとします。</p> <p>・なお発生土置き場につきましては、長野県がとりまとめた候補地の中から、現在、JR東海が活用先として有力と捉えている場所について、引き続き関係地区と調整中です。飯田市においては、下久堅地区、龍江地区の2か所で調整しており、JR東海に対して、地権者及び周辺の住民に不安を与えることがないよう、安全面に万全を期した計画となるよう要望しています。</p> |
|     |         | 83 | <p>・リニア駅乗降者数の6,800人という設定が納得いかず、過大な期待で過大な施設をつくるのは無駄ではないか。</p> <p>・リニア駅周辺整備の検討区域は、土砂災害が懸念されるため駅を設置する場所として適していないのではないかな。</p> <p>・リニアのルートによって「座光寺の農村原風景継承地域」が失われるのに、「伊那谷の個性で世界を惹きつけ」というのは、おかしいのではないかな。</p> <p>・「リニアを千載一遇のチャンスととらえ」るのは、おかしいのではないかな。</p> | <p>・リニア駅周辺のリニア駅の乗降者数は、平成27年6月に策定した「リニア駅周辺整備基本構想」において、バス運行計画の検討や、バス及びタクシーの乗降・待機スペース、駐車場などの規模を検討する上での土台である一方、「リニアの運行本数」、「社会情勢」、「人々を誘因する地域の魅力づくり」などによって変動するため、確度を持った数値を算出するのは現状では困難あることから、いくつかのアプローチにより、現時点で妥当と考えられる数値を採用しています。①長野県による推計、②飯田市による推計、③JR東海が公表した需要予測の3つの異なる推計を総合的に勘案し、『乗降者数6,800人／日』と設定しており、①、②では、国土交通省「全国幹線旅客純流動調査」による広域の人の移動の実態をもとに、将来的な人口減少(国立社会保障・人口問題研究所による推計)、リニアによる移動時間、リニア運賃などを仮定してリニア乗降者数を推計しています。このため、社会情勢の大きな変化が発生する等の事情がない限り、妥当であるとの判断しています。</p>                                                                                                                               |



# リニア駅周辺整備基本計画(案)に対してお寄せ頂いたご意見の概要と市の考え方

| 章   | 項目      | 通番 | お寄せ頂いたご意見の概要                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 市の考え方     |                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----|---------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| その他 | リニア事業全般 | 84 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR東海の手口には最大限の注意が必要であり、でたらめな会社である。リニア建設の認可についても、法的に極めて不透明な事業であることから、リニア建設の費用計画にかなり無理があることから、リニア計画は必ず頓挫するため、郷土を守るために、駅周辺整備の建設は南アルプストンネルの完成後で良いのではないかと。</li> <li>・リニア計画が本当に実現可能なものか検討せずにリニア関連の施策を計画・実行するのは極めて危険であり、リニア計画について批判的・科学的に検討される部署を早急に設置したらどうか。</li> </ul> | 追記せず原案のまま | <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR東海が進めるリニア中央新幹線事業については、飯田市としても現在の状況を踏まえつつ対応していますが、駅位置やルート等、技術的、自然条件的、環境的な観点から、パブリックコメント、県知事や国の意見も踏まえる中で、最終的には工事実施計画の国による認可という形の中で決定されており、その可否については基本計画の検討範囲外であることから、原案のままとします。</li> </ul> |
|     |         | 85 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の公共交通システムに接続できない、ヘリウムや残土処理の問題を抱えているリニア技術は実用化されないのに、駅周辺整備計画を立てるのは順序が間違っているのではないかと。</li> </ul>                                                                                                                                                                    |           |                                                                                                                                                                                                                                    |
|     |         | 86 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・リニア計画により、沿線各地での住民の静かな生活と貴重な環境や生態系が破壊されることはとても許されることではなく、市民生活を守る地方自治体として避けるべきはないかと。</li> </ul>                                                                                                                                                                    |           |                                                                                                                                                                                                                                    |